

団長の独り言

11月25日(日)「ようこそTさん!」

2019年1月5日、劇団ふぁんハウス第35回公演「夢めぐり・板橋公演」を終えて暫くたったある日、初めて劇団ふぁんハウスの公演をご覧になったTさんから、長文のアンケートメールをいただいた。

芝居全体としては、いい評価をしてくださってはいしたが、場面場面に応じて作者の私からすれば、耳の痛い指摘も箇条書きでいくつか綴られていた。

しかしその内容は「確かにそうだよなあ」というものばかりで、全て私は納得したし、それより何より、「夢めぐり」という作品を気に入って下さったからこそその指摘だというのはすごく伝わってきたので、Tさんの指摘はすんなり心の中に入ってきた。

きっとこの方は「演劇」ってものが大好きなんだろうなあ。ってのも文章を読ませてもらって感じた。

ちょうどその感想を頂戴した時、私はほとんど、次回作「明日への旅路」の脚本がほぼ完成した頃で、ただ完成はしたはいけれど、「こんな作品で大丈夫かな?」っていう、いつもの自信のなさど不安な気持ちでいっぱいの時だった。

そんなタイミングでのTさんからの素晴らしいアンケート。

私は、出演者にすら発表していない「新作」の脚本を、Tさんに読んでいただき、

「全体の感想、矛盾点、疑問点、修正点等を教えてもらいたい!」という願望が沸々と湧いてきた。

でもなあ…苦勞して苦勞してようやく完成させた作品なだけに、全てを否定されたら立ち直れないかもしれない。

そもそもそんな大切な事を、見ず知らずの方にお願ひする作者ってのは多分ないと思うし…すこし躊躇したけれど、それでも意見や感想を聞きたくなるほどTさんの芝居を観る目というのは素晴らしいものがあると、アンケートを讀ませていただき感じたので、一か八かまずはメールにてその旨をお伝えすると、数日後、Tさんから「こんな私でよろしければ…」というとても丁寧なお返事をちょうだいしたので、メールに書かれた住所に、完成したばかり脚本をプリントアウトしたものを送りした。

数日後、お送りした脚本をコピーしたものに、いくつものマークや線で記が付けられていて、的確なコメントや疑問点の書き込みと、別紙に書かれた感想等が送られてきた。

丁寧に、そしてとっても真剣に、何度も何度も脚本を讀み込まれたってのが、その形跡からもよく分かる。

「どんな方なんだろうか?」

私はどうしても直接お会いして、もっともこの作品についての感想等をお聞きしたくなり、後日、Tさんの御自宅近くの喫茶にてお会いする事に。

最初こそお互い緊張したけれど、「どうしてこんな脚本を描こうと思われたのか?」等の質問を受けつつ、話は私がこれまで歩んできた役者人生の話にまで至り、やがては演劇全般の話へと移り、「初めまして」なのに、約2時間もコーヒ一杯でその喫茶店で話し込んでいた。

それ以来、1年に1度、次回作の脚本が完成したら、まずはTさんに新しい脚本をお送りして、全体の感想、矛盾点、疑問点等を指摘していただくという事をお願いし続けている。

本当に丁寧に読んで読んでいただいている、私も含め、出演者全員がまるで気づかなかつた「矛盾点」を指摘して下さったり、作者の私ですら考えもしなかつた物語上の解釈を、キチンと分かりやすく解説して下さいたりと、毎回、すごく助けていただいている。

それなのに実際に直接お会いしたのは、最初の時と、「久美・美容室物語」の脚本が完成した時の2回だけ。

あとはメールでのやり取りのみだったので、今回、ついに稽古場へお越しいただく事が実現したのだ。

Tさんは、35回から最近の43回公演まで、全ての公演を御覧になっていて、感想も毎回キチンと書いて下さっている。

その感想文は、反省会でメンバー全員に紹介しているし、もちろん!脚本をチェックして下さい「こもとも」な内容も、必ず出演者全員で議論をしているので、

メンバー達はTさんの「芝居を観る鋭い目」は知っている。

そのTさんが稽古場へ来られた!かなり緊張しているメンバー達との雑談もそこそこに、早速幕開きのシーンから順を追って稽古をしていくと、セリフはとちりまくる…動きがロボット…「ザ!お芝居」をしている者…とてもとても人様にお見せできる代物ではないほど大変な芝居のオンパレードだったのだが、Tさんは約3時間の稽古中、真剣な眼差しでメモを取りながら御覧になっていた。

稽古終了後、「どうですか?」と聞けば、気になる箇所のご指摘は2、3あったものの、「文章だけでは分からなかつたところが、立体的になるとなるほど!」って思えて、すごく面白いです!」とのご感想を聞いてホッ!とする。

そのTさん、稽古終了後の挨拶の時に、こんな事を言って下さった。

「初めてふぁんハウスの芝居を観た時、こんな素敵なお話なのに、客席で寝ているお客様がいて、それがすごく悔しくて、だからこそ劇団ふぁんハウスには、もっともっと良くなって欲しいって思いました。」

Tさんの話を聞き、みんなの気持ちを引き締めたの言うまでもない。

Tさん、また稽古場に来て下さいね。こんな劇団ふぁんハウスですが、これからもよろしくお願ひ致します。